

令和6年第11回（臨時）高砂市教育委員会 会議録

令和6年8月1日午後1時30分高砂市教育委員会を高砂市役所南庁舎2階会議室2において開会

出席者

教育長 玉野 有彦

委員 吉田 美香

委員 山名 克典

委員 神尾 信作

委員 吉屋 章

高砂市教科用図書選定委員会会長

出席事務局職員

教育部長 木田 匠 教育推進室長 福本 典子

学校教育室長 平山 健二 学校教育室参事 矢野 仁之

教育総務課長 石原 里美 学校教育課長 福永 慎也

学校教育課係長 東口 佳純

本日の会議に付した事件

議案

- 1 令和7年度使用教科用図書の採択について

議 事 議案 1 令和 7 年度使用教科用図書の採択について

○教育長 傍聴の申出がありましたので、高砂市教育委員会会議規則の第12条第1項により傍聴を許可したいと思いますよろしいですか。

ただし、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書により、「人事に関する事件その他の事件について、教育長又は委員の発議により、出席者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる」という取決めがあります。選定委員会の独自性を確保するために、選定委員会会長の報告については非公開とすることに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

○教育長 賛成多数により、選定委員会会長の報告につきましては、非公開とさせていただきます。関係者以外の方は御退室をお願いいたします。

(傍聴者退室 午後1時36分)

(非公開のため別途会議録作成)

(傍聴者入室 午後3時38分)

○教育長 再開いたします。

令和7年度使用教科用図書の採択についてを議題といたします。

事務局から、今回の教科用図書の選定における仕組み、方向性等について説明をお願いします。

○事務局 教科用図書採択の流れについて御説明申し上げます。

兵庫県教育委員会は、無償措置法第11条に基づき教科用図書選定審議会を設置し、教科用図書の調査研究を諮問、答申します。その上で、市町教育委員会への指導、助言、援助として、教科用図書採択の基本方針を通知するとともに、調査研究資料の提供などを無償措置法第10条により行います。これに基づき、高砂市教育委員会では、高砂市教科用図書選定委員会を設置し、教科用図書の研究を諮問、答申します。

選定委員会規程は、平成28年12月定例教育委員会において協議し、平成29年4月1日から施行しております。

教科書の発行に関する臨時措置法第5条に、毎年一定の期間を定めて教科書展示会を開催すると規定され、本年度、高砂採択地区では、高砂市立図書館で6月14日から6月27日まで開催しました。教育関係者はもとより、保護者や一般の方々にも閲覧していただき、教科書や教科に対する理解を深めると同時に、参考意見を聴取することを目的としています。教科書展示会の開催結果については、後ほど御報告いたします。

調査研究は2市2町で行うこととし、各市町の選定委員会が調査研究を依頼し、調査研究された結果は調査員班長から報告を受け、第2回、第3回の選定委員会において協議、検討した上で、その内容が先ほど会長から教育委員会へ報告されました。

兵庫県教育委員会の採択に関する基本方針を5ページに、高砂市教育委員会の採択方針を9ページに添付しており、採択に当たっては、いかなる疑念の目も向けられることのないよう、公正性、透明性の確保を徹底し、教育委員会が責任を持って採択することが示されております。

また、採択に当たっては、高砂市の児童生徒にとって学びやすく、教師にとって指導しやすいという基本的な視点を踏まえて調査研究し、選定しております。

○教育長 教科書採択に当たっては、広く市民の意見を聞くことも重要です。今年度の教科書展示会の状況について、事務局からの報告をお願いします。

○事務局 今年度の教科書展示会の実施状況は、6月14日の金曜日から6月27日の木曜日までの14日間、高砂市立図書館において開催し、878の方が来場されました。来場者のアンケートを次のページに記載しておりますので御覧ください。

○教育長 報告がありましたので、審議に移ります。

高砂市教科用図書選定委員会会長から先ほど報告がありました令和7年度の使用教科用図書の採択に関する選定報告などに基づいて採択をいたします。このことについて、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 異議なしということですので、審議を進めてまいります。

それぞれの教科についての御意見を伺います。

まず、国語科の教科用図書について御意見を伺います。

○委員 令和7年度中学校使用教科書を作っていただいた出版社の皆さんにはお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

私は、選定に当たり、4つの基準を作りました。1つ目が現行指導要領の主体的・対話的で深い学びに関する内容がどうなっているか、2つ目がひょうご教育創造プランや兵庫県に関する内容がどうなっているか、3つ目が多様性に関する内容がどうなっているか、もう1つは、各教科の特色、使い勝手、グラフとか表とか、その辺がどうなっているか、この4つの項目を基準として選択をさせていただきました。

まず、国語は、主体的・対話的で深い学びに関する工夫ということでは、東京書籍は教科ごとの言葉の力の設定があります。三省堂は小学校から高校までの学習の系統性や継続性への配慮がありました。教育出版は教科ごとの「学びナビ」の作成がありました。光村図書は思考を促す図や表を数多く使っていることとか、「他教科との関連を明記した学習の見通しを持つ」との存在がありました。これらを比較して、光村図書が一番充実していると感じました。

2つ目のひょうご教育創造プランと兵庫県に関する材料、内容についての比較は、光村図書が質・量ともに一番充実していると感じました。

3つ目の多様性に関する内容は、3学年合計で11教材を掲載していた東京書籍が最も力を入れていると思いました。

4つ目のその他は、2点を比較しました。1つは各領域の割合で、高砂市では書く、読むの力をもう少し頑張ってもらいたいという長年の課題があり、最も割合が高かったのが東京書籍でした。もう1点は、その他、教科独自のことについても比較し、特に目についたのがSDGsにすごく力を入れている光村図書がよくできているなどと思いました。

以上4点を比較検討の結果、総合的判断で、光村図書が本市の使用教科書にふさわしいと思いました。

○教育長 他にございませんか。

私も、資料が充実していることで光村図書が良いと思っていました。高砂市の子どもたちを見たときに、学習の意欲を高めたい、学びに向かう力を考えたときに、かぐや姫のところを見させてもらいましたが、充実していると思いました。「学びのカギ」についても、光村は子どもらの目当てをちゃんと分からせるように導いてくださっていると思いました。

他に御意見はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 国語は光村図書を採択することで御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 国語科の教科用図書は光村図書を採択することに決定いたします。書写について御意見ございますか。

○委員 まず教科書の大きさを考えました。B5判なのかA4判なのかということで、大きければ見本となりやすく見やすいという利点もある一方、広げて机の上に置いたときに、邪魔になることがあります。すずりとかいろんなものもあり、どちらがいいのか悩みましたが、どちらかに優劣をつけるべきだと思い、今回は少し小さい方が、書道、習字、書写の作業をする上でいいのでB5判としました。

多様性に関する内容は、ここは8教材を使っていた教育出版が圧倒的に多かったように思います。

兵庫県に関する内容は、光村図書が、明石海峡大橋、明石、神戸の地名、防災クイズ等で一番たくさんの教材を掲載していました。

それ以外は、全体的に書写として感じたことを見ましたが、東京書籍は筆の運び方を「とん」とか「すう」とか「びた」と音で表現しているのが分かりやすいと思いました。三省堂は左利きの生徒用の動画があり工夫がありました。教育出版は用具の置き方とか生徒のための写真がありました。光村は手元の横に穂先の

向きとか筆圧が描いてあって可視化でき分かりやすい部分があります。別冊が表紙のすぐ裏について、取り外しができる工夫もありました。

総合的な判断では、光村図書が本市の教科書に対しては一番ふさわしいと判断いたしました。

○教育長 他にございますか。

○委員 三省堂の左利きへの対応というのは、これはとてもありがたいなと思います。年々増えてきていますので、各出版社さんはこういう項を入れていただければありがたいなと思っております。

○教育長 ありがとうございます。

私は、どの子も学べるように配慮いただいている教科書会社さんはすばらしいと思いつながりました。興味関心を高めるコンテンツがいっぱいあると思います。

生活に役立てるところを見たときに、光村のコラムや季節のしおり等も興味関心が高まるなと思って見ました。

光村図書さんを採用することでよろしいですかね。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 書写の教科用図書は光村図書を採択します。

社会科の地理的分野につきまして御意見はございますか。

○委員 帝国は、地図帳と連携した形での利用の仕方がうまく構成されていて、考えを整理しやすいです。初めの取り組み方への工夫がよくて、内容的に良く、章の振り返りというのもあり、深い学びへの工夫も十分感じました。

東京書籍は、まとめの活動に関して、ややまとめにくいようなことがありました。学習の課題に関しても、ややシンプルなところがあって、補足説明が必要と思われる。SDGsについてはそれなりの記載がありよかったと思います。

教育出版は、「地理の窓」でいろんな豆知識的な、雑学的なことを記載していただきまして、個人的にはこういうのがすごく好きなので非常に楽しいと思いました。あと、内容の充実、資料も非常に多いと思いますが、コンテンツがやや少なかったかなと思いました。

日文は、QRコンテンツがあって、適切な配置があって非常にいいと思います。見方、考え方、トライ、スキルアップ等、確認から表現と、小テスト、クイズ等で学びの中を一つ一つ確認しながら進んでいけるのが非常にいいことで、学習の内容では目標も分かりやすくよかったと思っております。

その中で、全体的な形としては、審査会から言われていることと同じような点で帝国書院が非常にいい図書だなと思っておりますので帝国書院を薦めたいと思います。

○教育長 他に御意見はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 社会科の地理的分野は帝国書院を採択するということにさせていただきますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 社会科の地理的分野は帝国書院を採択することにします。
地図をお願いいたします。

○委員 帝国書院は、イラストが鳥観図的で非常に分かりやすく、非常に興味をそそる形になっています。前回の教科書とほぼ同じ絵と図を使用されていますが、その中にも常に新しい追加があり、時代の変化をきちんと追求しているので良かったと思います。日本地図も全体が非常に見渡しやすいと、位置関係の方位が理解しやすい状態になっています。全体の色調も、文字の大きさ、図表の配置の仕方も非常に優れたものがあって、非常になじみやすい、見やすい地図だなと思います。

東京書籍は、地図の色で高さ、海の深さ等、その辺の表示の仕方が分かりやすいと思います。資料に関しても非常に多くて、いろんなことが非常に分かりやすかったのですが、ただ、図表、指標の配置にやや難があり、全体の色調がちょっと悪いと思いました。

そういう意味で、帝国書院の方がいいと思いました。

○教育長 他に御意見はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 私も委員と同じで、東京書籍は見た目に濃淡が分かりづらかったことや、防災教育の面で、ハザードマップの独特の色合いや、コンテンツを見たときに、アフリカ州の衛星画像とかあらまし、鳥観図とか、NHK for Schoolに飛んでいったりすることもあったので、帝国書院が良いと思っております。

地図の採択につきましては、ほかに御意見がございませんでしたら帝国書院を採択させていただくことでよろしいですか。御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 社会科の地理的分野は帝国書院を採択させていただきます。

社会科の歴史的分野について御意見をいただきたいと思います。

○委員 出版社が多くて、比較するのに非常に戸惑いました。

帝国書院は世界とのつながりやすく、歴史と地理的な分野とを関連づけて全体像がつかみやすく、歴史の流れを捉えやすいと思いました。タイムマシンを使った学習があり非常に取っつきやすい形で良かったと思います。人権問題にもいろいろ扱っているところがいいと思いました。

東京書籍は、歴史の流れをつかみやすい構成になっていますし、課題をつかんで、追求して解決していき、それをスキルアップしていくということで、いろいろと勉強のしやすさ、学びの仕方、スケジュールを立てやすいような形で作っています。デジタルコンテンツも使いやすそうで、兵庫県に関する内容もそれなりにありました。

教育出版は、「歴史の技」に関して非常に面白く、生徒たち、子どもたちはそれについて順番に勉強していくという流れを作っていると思っています。実際、課題があって、確認して、表現して、そういうのを作っていくと、時代の流れが非常に分かりやすい構成になっています。SDGsの点についても記載があって、年表も中央に置いて見やすいと思います。

日文は、特に世界史との関係が、時代考証が分かりやすく、日本の歴史だけでなく世界との関連がうまくできて、非常に見やすい教科書だなと思いました。人権についても取上げがあったということ、デジタルコンテンツも利用しやすいかなと思いました。特に鎌倉の仏教のところは非常に分かりやすく記載されているという印象を持ちました。

山川は、文字の大きさや多さと、写真の少なさがちょっと気になりました。資料のグラフ、写真が少ないのでバランスがちょっと悪いという感じはしました。内容は勉強する子にとっては深くできる、単元の内容が豊富な状態なんですけど、やや難しさがあるからしにくいかなという感想を持ちました。戦争の記載がちょっと少ないと思います。

自由社は、コンテンツが少ないということもありますし、歴史的イベントの表現の仕方等にはちょっと違和感を覚えております。

育鵬社は、歴史的な表現等に関して古い表現がされているということもありますので、やや違和感を持ちながら見させていただきました。

令和書籍は、コピーでしたので非常に見にくく、カラーのきれいな教科書の後でしたので、コメントのしにくい状態で非常に困りました。

トータルとして、帝国書院を推薦したいと思っています。

○教育長

いかがでしょうか。

私もコンテンツの多い少ないだけでなく、内容が分かりやすいということを見ました。本格的な内容で、資料としてよくまとめているというものもありますし、先人的なこと、歴史の人物を特徴的に捉えることとか、子どもらがワークしやすいとか、取っつきやすいようなテーマにしているとか、いろいろ工夫されているところが多くあり、意見の出やすいような構成があったり、タイムトラベルのページが効果的であったと思いました。私も帝国書院が良いかなと思いますが、社会科の歴史は帝国書院でよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長

社会科の歴史は帝国書院とします。社会科の公民的な分野をお願いいたします。

○委員

帝国は、兵庫県の分があるということ、一番に写真が出てきてそこから入っていきやすい状態になっていました。単元の見通しも、振り返りの分に関しても、非常に分かりやすく、QRコンテンツの活用に関してもしやすと思います。ただ、政治の問題に関しましては日本国憲法と民主主義、立憲主義と初めの関わりについて、やや堅苦しくて取っつきにくいイメージを持ちました。経済に関して

も説明文ばかりが多くて、説明的で分かりにくく、なじみにくいかなという形で、もっと分かりやすくしてほしかったと思います。領土問題に関して記載が多いのは非常にいいかなと思っていますし、自衛隊の貢献等の表記はありますが、やや少なめというイメージを持ちました。

東京書籍は、目標達成について、思考を重ねていくツールがありますので、それはいいかと思っています。コンテンツも多く、SDGs に関するいろいろな書いてありました。ただ、領土のことに関しては文字が小さくて読みにくいのがありました。文章をたくさん書くためだったのか、ちょっとくどい説明になっており違和感を感じました。自衛隊に関しては、PKOとか震災のときの災害派遣等に関する十分な記載があって、理解を得やすい表現になっています。

教出は、説明文のみで分かりにくい部分がちょっとあり、身近な例がもうちょっと欲しいと思います。領土問題に関しては、それなりに普通の表現かと思いますが、内容がやや浅いかなという感じで、もうちょっと深掘りできるような内容であってもいいと思いました。表現が説明的で、やや興味がそがれるような感じで、もうちょっと関心を持つような形の表現になってもいいかなと思います。

日本文は、イラストが非常に多くて写真がやや少ないと思いました。沖縄問題のこととかいろいろ取り上げられています。給料に関する世論調査の結果を載せているんですけども、意図がちょっと理解しがたく思いました。日米安全保障条約と日本の国際関係とか国際貢献についての分に対してもそれなりの記載はありますが、実際、領土問題に関してはページ数も他社に比べて1、2ページ多いのが、評価すべきことかどうかはちょっと判断に悩みました。

自由社は、やや偏りがあり違和感を覚えて、民族と家族のことでそれなりの記載が、冒頭に出てきたときに、それをどう考えたらいいのだろうと一瞬、戸惑いました。日本人の拉致問題に関する記載が非常に多く、自衛隊、PKOに関しても非常に詳しく書いていますが、詳しく書くことがどういう意味を持つのかなと、若干、疑問を持っております。

育鵬社は、内容の配分の仕方にちょっと難があるかなというところがありました。

結論的には帝国書院を推薦したいと思います。

○教育長

他に御意見はございませんか。よろしいですか。

本当に私も同じ、帝国書院がいいと思っていますが、全部の会社を読むと、あなたたちが未来をつくりますという意味合いも込めて、子どもの興味関心を高めようとして作ってくださっているのがありがたいと思います。社会の課題とかについて自分の考えを持ってもらいたいということが強く出ていて、言語活動を促すようなことを「確認しよう」とか「説明しよう」とかいうようなことで問いかけてくださっている帝国書院が良いと思いました。

皆さん、帝国書院を採択することで御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 帝国書院を社会科の公民で採択させていただきます。

数学について御意見をいただきます。

○委員 今回、テーマとして3つ挙げました。まず、教科書が文字も含めて取っつきやすく見やすい点。2つ目は、中学になると大分、進度がばらついてくると思うので、それをどういうふうにテキストで埋めていくかという点。3つ目は、「これを勉強して、大人になって何か使い道があるの」というようなところで、数学概念というのがいかに生活に密着してあるかということを経験で表現できているかということなのです。

この3つのテーマで見せていただいたときに、文字が読みやすいというのは、一目瞭然、テキストを見れば分かります。2つ目の進度がばらついたときという話で、やっぱりこれはデジタルコンテンツを上手に使う、いかにして自分で学習しながらやっていけるかどうかとか、学校を休んだときにどうやって補えるかということをよく考えて作ったというのがはっきりと差があるなというのは感じました。3つ目の数学概念は、生活と結びついているんだよ、全然無駄な勉強じゃないんだよということをおっしゃっているのは、東書ですね。東書が数学と職業を結びつけたページというのを作っていて、将来、数学がこういう形で仕事に結びつくよということを経験に子どもたちに教えてくれています。

啓林館は、高校の数学への橋渡しみたいで、今、授業中にちょっと退屈している子なんかも、こういう発想に切り換えていただくと、退屈しないで、自分でちょっと高校のテキストを買ってみて見てみようかなんていうことを思う子もいるかもしれません。

この3つのテーマから考えて、東書と啓林館で、総合的に細かいところ、導入の仕方とかいろいろ考えて、私は東書と思っています。

○教育長 どうでしょうか。皆さん、ほかに御意見ございませんか。よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 より生活と結びついているということが1つポイントであったかなと思っておりますけれども、よろしいですかね。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 それでは、数学科の教科用図書は東京書籍を採択するということにします。

理科に関して御意見はございますか。

○委員 理科の教科書は啓林館の教科書を推薦させていただきたいと思います。

全体を通して探究する力を育むというところを柱にする構成になっていて、課題を把握して、それから追求して解決していくという、その過程も非常に明確で分かりやすい内容になっています。実験においても、あらかじめ仮説を立てて、その後で話合いの時間を持って対話をする、そういう習慣をつけるというような計画がなされていて、あくまでも答えとか正解を出すためではなく、生徒自

らが考える、非常に主体的な学習につながるような仕組みになっている教科書だと思います。探究というところを柱にされているので、それに適した題材もしっかりと選ばれています。ビジュアル的な部分、写真もダイナミックですし、図とかも効果的に使われて非常に見やすい教科書です。表記とか表現も適切で、見やすく、動画も充実していて、探究ラボ、探究クラブ、探究の種、そういった形で書き込み式の問題ツールも用意され、探究というものをサポートするツールも非常に充実しています。ツールとかデジタルシートとかとじ込みシート、そういう誰もが簡単に探究的に学べる工夫があちこちにしてある教科書であると思います。防災に関する記載も多いし、兵庫県ならではのものもありますから、身近に学びやすいし、コロナ禍の記載があったりSDGs、その辺の今日的な課題もしっかりと取り上げられている教科書ですので、啓林館の教科用図書を推薦したいと思います。

○教育長 皆さん、どうでしょうか。よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○教育長 探究的な学習に向かえるような流れ、他にも工夫はいろいろあるんだけど、スムーズにそれに向かうであろうという形で、理科の教科用図書は啓林館を採択することで御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○教育長 理科の教科用図書は啓林館を採択いたします。

音楽科一般の御意見をお願いいたします。

○委員 音楽一般は、出版社が2つだけなので、比較みたいになってしまい申し訳ないんですが、全く発想が真逆のテキストだと思います。教芸のテキストは本当にザ・テキストで、子どもの発達段階に合わせた、過不足のないきちんとした記述で、独学もできるかと思うぐらい完成度の高いテキストだと思います。例えば合唱のテストやコンクールをしようとしても、合唱のデジタルコンテンツで自主練習ができるものがついていたり、音楽アプリと連動して、自分でタブレットの上で曲が作れたりします。今、著作権というのがいろいろと話題になっていますが、そういうものに関する記述もあり、本当にバランスよくいろんなものが入っているテキストです。

それと比べて、教出は、音楽へのロマンが感じられ、私は個人的には好きですが、一貫して、今の多様性に合わせて、民族と音楽というものに徹底して1つの流れをつくってテキストを作っておられます。その一貫した姿勢というのはすばらしいと思いますが、それを貫こうとすると、ある意味、子どもの発達段階に合わせていくことがしにくくなったり、新しいものをいろいろ取り入れることも難しかったのかなと、ちょっと残念だと思っています。

やっぱり現場の先生方にとって、ザ・テキストの方が、そのまま順を追ってやっていけるという良さがあると思います。先生方自身も、音楽大学とか教育学部

の音楽を出られた先生ですので、自分たちもそうやった手順を追って勉強してこられたので使いやすいとは思いますが。現場の先生としては、教芸さんのものがないのではないかとということで、私はこちらを推薦したいと思えます。

○教育長 分かりました。教出と教芸ですが、どちらも面白い楽しい教科書ですが、教師が使うに当たっては教芸の方が、使いながら子どもたちの学びを引き出しやすい感じになると思えます。

音楽科の一般は教育芸術社を採択することよろしいですか。御異議ございせんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 音楽科の一般は教育芸術社を採択させていただきます。

音楽の器楽の分野の採択の方を審議したいと思えます。御意見はございせんか。願います。

○委員 器楽合奏も、先ほどの音楽一般の2社と同じような傾向があると思えます。器楽に関しては、私はちょっとテーマを設けました。学校が少子化で人数が減ってきて、クラスごととか学年ごとに合奏や合唱が難しくなっていく、学校全体でやるという発想に変わってきてつあります。合唱では音楽一般の方で、教出が「ふるさと」を1年生から3年生まで一緒に、ちょっとずつ難しくして、全体で歌えるものを作られています。器楽ではどちらも、学年全体、学校全体でできるというものはありませんでした。学年ではちょっと難しくなってきた、学校全体で、発達段階に合わせて練習して、最後に合わせれば合奏になるようなものが必要になると思えますので、できましたら出版社さんにそういうものを入れていただくことを願いつつ、最終的には教芸のテキストを推薦したいと思えます。

○教育長 御意見はございせんか。よろしいですか。

私も、自分で何かをするときの見やすさ、打楽器のやり方が充実していたというところもあり、教芸がいいと思えます。

音楽科の器楽の教科用図書については教育芸術社を採択させてもらってよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 音楽科の器楽の教科用図書は教育芸術社を採択します。

美術の採択につきまして御意見はございせんか。

○委員 1つ目は、学習指導要領の趣旨、ひょうご教育創造プランを踏まえた内容と、兵庫県に関する題材を取り上げているところの比較で、日本文が3学年合計で32題材、兵庫県に関するものは兵庫県立美術館とか姫路城などを取り上げて9項目で、一番充実していました。

2つ目、主体的・対話的で深い学びに関する取上げ方は、各社ごとにいろいろ工夫があるんですが、総じて見ますと、開隆堂と光村がより良い取組をしていると評価しました。

3つ目、多様性に関する内容は、日文が使う人の立場で考える等、7項目を取り上げており一番充実していると感じました。

4点目、その他、全体的に感じられたこと、見受けられたことは、光村は章末に学びの資料が掲載されていますが、やや内容に乏しく感じます。3冊目の分冊があるのですが、これの取扱いが、なくしてしまわないのかとか、使い勝手をどうするかというところで賛否あるとは思いますが、この取扱いについてもちょっと気になったところではあります。日文は、身近にあるデザインや工芸の内容にちょっとまとまりがないと感じました。

開隆堂は、表紙に非常にインパクトがあり、アイデアシートの活用で主体的で自由な発想ができると思いました。非常に難しい判断でありましたが、欠点が一番少なくて完成度が高く、子どもたちに使い勝手が一番いいということで開隆堂を採択させていただきました。

○教育長 分かりました。他に御意見はございませんか。
よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 美術科の教科用図書は開隆堂を採択させていただきます。
保健体育につきまして御意見はございますか。

○委員 まず、内容の分量ですが、これは8項目に分かれています。全て重要な項目であります。その中で、あえて差別化ということで、何が一番大事だろうと思ったときに、健康な生活と疾病の予防になると思いました。その割合、分量を確認しましたら、大修館書店が29%の割合を持っていましたので、大修館がいいと思いました。

2つ目、主体的・対話的で深い学びに関する取上げは、差別化できるような明確な違いは感じませんでした。

3つ目の多様性に関する内容は、今日的な社会問題の扱いを比較するということになりましたが、大修館書店は掲載の量が十分あったんですが、他の3社は物足りなさを感じました。

4つ目、その他として全体的な印象等ですが、いろんな工夫がありますので、2つずつぐらいピックアップしました。東京書籍は二次元コードが充実していました。各章の最後に学習のまとめがありました。大日本図書は左ページが本文で右ページが資料の構成が大体統一されていました。大修館は性の多様性とか性的なマイノリティーに関する資料が豊富に扱われていました。ストレスに関する記述がありました。学研は二次元コードから外部にリンクにアクセスできるという特色があったと思いますが、総合評価をしますと、大修館書店が最もふさわしいと思っています。

○教育長 他にございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

- 教育長 保健体育科の教科用図書は大修館書店を採択させていただきます。
技術家庭の技術について御意見はございますか。
- 委員 東京書籍を推薦したいと思います。
言語活動の定着やデジタルコンテンツの活用、その他、全体的に学習指導要領に沿った内容となっているという点があります。1年生最初の技術分野のガイダンスで、技術によって学ぶことや面白さ、そういう表記があって、今後の学習を見通すことができ、その内容も簡潔で非常に分かりやすい構成になっています。学習の道筋、流れがしっかりと見えるようなデザインで統一されていて、非常に使いやすく見やすい教科書です。漫画で見開きページも表現されて、親しみやすくて分かりやすく、先生にも使いやすいのではないかと考えています。身近な例もいろいろと多く用いていて、取り組みやすい活動が多く取り上げられています。プログラミングというのは、指導の立場からも学ぶ方からも非常に難しいとされていますが、基本プログラムというのを押さえるプログラミング体験ページも設置されていて非常に効果的だと思います。目に見えない情報技術という分野でも、分かりやすいイラストや図で表して、理解しやすい工夫があちこちにされている教科書で、QRコンテンツも豊富にあり、生徒が自分で選んで、いろんなツールを使えるようにしてあることが非常にいいと思います。
- 教育長 他に御意見はございませんか。いいですか。
(「なし」と呼ぶ者あり)
- 教育長 安全性を考えたり、子どもたちに興味を持たせるような形で実習例を考えてくださっている東京書籍が身近な例で分かりやすかったと思います。
技術家庭の技術の教科用図書は東京書籍を採択することとしてよろしいですか。
(「異議なし」と呼ぶ者あり)
- 教育長 技術家庭の技術の教科用図書は東京書籍を採択します。
技術家庭の家庭をお願いします。
- 委員 家庭分野も東京書籍の教科書を推薦いたします。
これも技術分野と同じく、全体的に学習指導要領に合った内容にしっかりなっていて、中学生の興味や関心、発達段階に適した自立から共生というテーマを掲げている点で、最初のガイダンスで、自立から共生という学びの過程が展開されていて、これから何を学んでいくのかという学習の流れを最初に把握できる構成になっている点がいいと思います。目標、学習課題、本文、図、活動、まとめ、そういった形の授業の流れの基本のフォーマットが統一されていて非常に使いやすく、生徒に分かりやすいのはもちろん、先生も非常に使用しやすい内容の教科書だと思います。QRコンテンツ、動画、シミュレーション、思考ツール、ワークシート、クイズ、資料ほか、他教科とのリンクなど非常に豊富で質が高いため、生徒それぞれが自分に合った方法で学んでいくというニーズにかなっている

て、いろいろな情報が選択できる教科書です。各章で小学校と深く関わる場所にはマークがついており、小学校との学習の系統性、引継ぎなどが重視されている内容となっています。

○教育長 ありがとうございます。
御意見ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○教育長 技術家庭の家庭科は東京書籍を採択することとさせていただきます。
外国語につきまして御意見ください。

○委員 開隆堂が新文法の導入がしやすいコンテンツがあったり、工夫されたイラストで内容の理解も非常にしやすい、分かりやすいまとまった教科書であると思います。各単元、これもしっかりまとまっていて、学習の流れについて、そういうのが非常に分かりやすい明確な教科書だと思います。SDGsに関する題材も多く取り入れられていますし、QRコンテンツも充実して、それぞれに多様な見方ができています。東京書籍と非常に僅差で協議がなされたんですけども、最終的には、教職員の先生方の御意見、それから使いやすさという点を重視して、開隆堂の教科書を推薦させていただきたいと思います。

○教育長 他に御意見ございませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○教育長 外国語の教科用図書の採択は開隆堂を採択することとさせていただきます。
特別の教科、道徳について御意見をいただきたいと思います。

○委員 道徳というのは本当に特別な教科で、とても難しい教科だと思います。たくさん
の出版社さんが子どもたちのためにいろいろ御苦労くださっているというの
を、教科書を見ていてすごく感じ、ありがたいことだと思っております。

道徳は子どもたちが自分の心の感じ方を知る、心の動きを知る、自分の価値観
を知るとい、自問自答の世界だと思います。そういうことをなるべく本人が実
感してもらえらるような教材になっているかどうかというのが一番大事なことで
テーマとして捉えて全部の教科書を見させていただきました。

あかつきと光村はそういうテーマに沿っていると感じました。特にあかつきは、
今のいろんな問題、新型コロナウイルス感染症のこと、生成AIのことで今、大
事に考える必要がある新しい題材と、長年読み継がれてきた定番の読み物と、両
方を上手にバランスよく取り入れているところが先生方にとっては使いやすい
と思います。多面的に、多角的に捉えるとか、議論できるような工夫もされてい
て、教科書として、とてもよくできた完成度の高いものと感じました。

光村は、内容がちょっと人権に傾いているように思います。そのところが難
しいところなんですけれども、道徳の教科書なので、やっぱり最終的にはあかつ
きかなと思います。ただ、光村は、小学校のときの教材を中学校で読ませ、自分

の心の変化を子どもたちに実感させるというやり方はすばらしく、ぜひともほかの出版社さんも取り入れていただければありがたいと思います。

最終的に、あかつきを推薦いたします。

○教育長 特別の教科、道徳の教科用図書はあかつき教育図書でよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 あかつき教育図書を採択させていただきます。

いろんな教科書会社の方が子どもたちや教師のことを考えて教科書を作っていただいています。

以上の採択でよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 その他、教科書について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局 小学校の教科用図書は、令和7年度は令和6年度と同一の教科用図書を採択することとなっております。

特別支援学級の教科用図書は、下学年本を含む文部科学省検定済み教科用図書、文部科学省著作本を使用する方向で検討し、児童生徒の実態に応じて一般図書を採択することとなっております。

○教育長 何か御質問、御意見ございますか。大丈夫ですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

令和6年8月1日 午後4時42分 教育長会議の閉会を宣告
